

年の暮れが近づいてきましたが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。着任して、3か月目に入っており、引き続き、日本関係の種々多様な方々とお会いして管轄州の現況の把握に努めております。まだまだお会いできていない方も多く、今後ともそうした方々とお会いできるのを楽しみにしています。

11月18日、茶道裏千家淡交会モントリオール協会年次総会にお招きいただきました。日本人やカナダ人の茶道の先生とその生徒方が年に一度集まる、規律正しく、かつ、和気あいあいとした会合でした。こちらの会長でもあるドランジュビル氏は、全カナダ剣道連盟会長として旭日小綬章を受賞された方です。剣道の達人でありつつも優しそうな、とても素敵なジェントルマンでした。茶道、剣道、華道など各分野の達人にお会いできた豊かなひとときでした。

同22日、オリヴィエ・グジョン総支配人の案内で、モントリオールの Salon du Livre（ブックフェア）を視察しました。初日に第2回マンガ・スカラシップ授賞式が行われ、「OTAKU マンガラウンジ」代表のバネッサ・フローレスさんが司会を務め、多数の応募者の中から選ばれた3人の受賞者が発表されました。受賞者・応募者からはマンガへの熱意とひたむきさが感じられ、それぞれの作品にかける情熱がうかがえました。



12月1日、商工会の年末総会に出席させていただきました。商工会のメンバーの方々の中には、初めてお会いする方々も多く、直接ご挨拶を交わすことができ大変嬉しく思いました。商工会の1年間の活動や補習校の状況についても、役員の方々から網羅的でわかりやすいプレゼンテーションが行われ、とても勉強になりました。また、多種多様な分野で活動されている商工会会員企業さんたちからお話を大変興味深く伺いました。総領事館は引き続き、日本企業支援に努めて参ります。



12月5日、当館管轄州内にある日本語教育施設のオンライン会合に出席させていただきました。それぞれの施設の課題や知見が共有されるとともに、各施設

が限られたリソースの中で、知恵や工夫を凝らして運営に当たっておられることがご出席者の方々のご発言からよくわかりました。日本語普及に大きな貢献をされている各施設の方々に敬意を表し、これからも応援します。



同5日、モントリオールへの投資促進や人材発掘等に取り組んでいるモントリオール・インターナショナルのパケ総裁を往訪しました。同機関の活動、ケベック・インターナショナル等の他の機関との役割分担について何うとともに、移民受け入れ、投資環境について議論しました。今後も、これら機関とも連携しつつ、日本企業にとってのビジネス環境改善を訴えて参ります。

同9日、モントリオール日本語補習校を訪問させていただきました。日本の義務教育課程に基づいた勉強を、児童・生徒の皆さんがたった週一回の授業でしっかり学んでいること、そのために宿題も多くなり、親御さんの助力のもと児童・生徒の皆さんが懸命にこれに取り組んで成果につなげていっていることが、授業の様子や教室の展示物からよくわかりました。また、お邪魔させていただいた各学年の授業でも、先生と児童・生徒さんの活発なやり取りが見られ、この闊達な雰囲気はカナダならではと思いました。補習校が学校関係者、ボランティア、親御さん、児童・生徒さんのご尽力のおかげで成り立っていることが良くわかりました。

14日、モントリオール日系文化会館のシニア・クリスマス会にお招きいただきました。井上会長、シニアの方々、多くのボランティアの方々の企画・参加で、旭日双光章受賞のツヨシ・テリー・ヤスナカ元会長が盛り上げた民謡踊り、太鼓、ピアノ、サックスなどの心のこもったパフォーマンスが行われ、「ほっこりした」という形容がぴったり当てはまる、暖かな会合でした。



皆様におかれては、どうぞ良いお年をお迎えください。